

F-29 家政学の体系確立と家政哲学〔N〕 家の守護性と家政哲学

郡山女大家政。関口富左，真船均，須田秀幸，高館作夫，影山弥

目的 家とは何か，住むとは何か，真に家族の住むにたる家の意味は何か，ここに家政学の基本的問題がある。ボルノーの家の被護性を家政学的に展開し，家族及び個人の生の志向を守護することの理念として，家政哲学の確立をはかる。

方法 ① 本発表者前三者の理論を基にして，目的の達成をはかる。② O.F.ボルノーの哲学を，家政学的に展開する。③ 演者の過去の研究をふまえて，主題に対して詳細に論究する。

結果 家政学の定義を始めとして，各学者の諸説が多いが，哲学的な視点よりこのことについての論及をみない。家政哲学の確立をみるに及んで，家政学の各研究分野及び研究内容においても，〈人間守護の学〉としての大テーゼにより，他学と異なる家政学の真の意味を有する独自性が明かとなり，しかも，人間生活にもっとも中心的な学としての証明がなしうる。